

またまた内部文書明らかに 統幕僚長が米陸軍参謀総長と昨年12月に会談 日本共産党仁比議員追及 参院特別委員会

9月2日、1週間ぶりで参議院安保平和特別委員会が開催されました。この特別委員会では、日本共産党の仁比聡平議員が新たな自衛隊の内部文書にもとづいて政府を追及しました。小池晃参院議員による追及につづくもので、戦争法案の違憲性や危険性ととも、戦争法案がアメリカの要求にもとづくものであるという本質の露骨な姿を明らかにしました。

自衛隊文書は「統幕長訪米時における会談の結果概要について」

仁比議員は「統幕長訪米時における会談の結果概要について」と題した自衛隊内部文書（「取扱厳重注意」）を示しました。

この文書には、河野統幕僚長が米国防総省内で、昨年12月17日にオディエルノ米陸軍参謀長と会談した概要が書かれています。このなかで河野統幕長は、「(12月)14日に総選挙があり、与党が圧勝した。集団的自衛権や安保安法制の議論は引き続き進捗するものと認識している。年内に改訂予定であったガイドラインは来年、安保安法制の整備に合わせ発表することとなった。集団的自衛権の行使が可能となった場合は米軍と自衛隊との協力関係はより深化する。」と述べています。

オディエルノ陸軍参謀長は、「現在、ガイドラインや安保安法制について取り組んで入りと思うが予定通りに進んでいるか？何か問題はあるか？」と反問。これに対し河野統幕長は、「与党の勝利により来年夏までには終了するものと考えている。」と答えています。

仁比議員の追及に対し、中谷防衛大臣は「承知していない」と無責任な対応に終始しました。仁比議員は、改めて資料の提出を要求しました。

国民、国会無視、自衛隊独走は絶対ゆるされない

この文書は昨年12月24日付のもので、小池議員があきらかにした5月段階に作成されたものよりも半年以上の前のもので、防衛賞・自衛隊ぐるみの国会と国民無視、自衛隊独走そのもの、日本国民救援会憲法下で断じて許されません。

4日は4時間の一般質疑、傍聴を！

特別委員会は今後、9月4日（金）には13時から4時間の一般質疑が行われます。また8日（火）には初めての参考人質疑がおこなわれます（同じく13時から17時まで）。

傍聴希望の方々は憲法会議または平井（携帯 080-1306-6303）にご連絡ください。

明日3日（木）17回目の連続木曜国会前行動

9月3日（木）18時30分～19時30分、衆議院第2議員会館前で大集会です。